

第3章 アクションプラン

1 アクションプランメニュー

アクションプランメニューは、前章で述べた基本方針ごとに、市、観光関係団体、観光事業者、市民などが取り組むべき具体的な事業の提案で、3年以内に実施に向けた検討を行い、一つでも多くの事業を実施または着手することを目標とします。

「重点メニュー」（太字）は、その中でも特に重要と位置づけるものです。

基本方針 1 かけがえのないふるさとを守り育てる観光を目指します

テーマ① 歴史遺産、地域の「宝」を活かします	歴史の宝庫、京丹後の発信	
	1	・全国に発信できる歴史的な魅力、資源をさらに関係者で研究・協議する
	2	・代表的な古墳、史跡を絞り、見学できるための環境整備を行う
	3	・丹後生誕1300年(2013年)を記念したイベントの実施
	4	・歴史、文化、伝説などを紹介するシリーズ的なガイドブックの作成
	5	・社寺関係者との協力連携の推進
	地域の「宝」の活用	
6	・「地域遺産」、「京丹後百景」などの登録制度の実施	
7	・地域の祭を利用した観光客の誘致	
テーマ② ふるさとの物語を伝え感動につなげます	伝説・伝承の活用	
	8	・丹後七姫の各種PRへの活用、ゆかりの地環境整備を行う
	9	・各地に伝わる貴重な伝説・伝承を観光に活用する
テーマ③ ジオパーク構想を推進し、豊かな自然を守り活かします	「山陰海岸ジオパーク※構想」の推進	
	10	・貴重な地質遺産を世界に発信する「世界ジオパーク」登録に向けた取り組み及びジオサイト※を活用した特徴的なジオツーリズム※の推進
	豊かな自然活用	
	11	・「自然公園ふれあい全国大会」を機に散策コースの設定とガイド案内の実施
12	・貴重な植物のある風景(トウテイラン、ユウスゲ、フクジュソウなど)の積極的な活用と、フクジュソウなどを地域で育て販売する仕組みづくりを行う	

基本方針 2 地域資源を活かして未来を拓くほんまもん観光・体験を提供します

テーマ① 海の観光	漁業者と連携した海の体験の実施	
	13	・漁船などを活用した遊覧船やシータクシー※の実施
	14	・各種漁業体験、漁港、セリ見学の実施と漁家民泊の取り組み推進
	15	・海業振興協議会による観光と漁業を結びつける検討、連携の推進

テーマ② 農の観光	農業者と連携した農業体験の実施	
	16	・農業体験、自然ふれあい体験の実施と古民家等を利用した宿泊、農家民泊※の実施
	17	・山間部で農業体験と海の体験などを組み合わせた1泊2日体験メニューの提供

テーマ③ ものづくり観光	機械金属工場の見学	
	18	・「丹後ものづくりパーク」を拠点とした機械金属工場の見学実施
	19	・機械金属関係の土産物の改良・開発
	20	・関係者による協議会の設置とサポート体制の確立
	丹後ちりめん観光	
	21	・丹後ちりめんを活用した工場見学、小物づくりや和装体験の実施
	22	・ちりめん製傘の貸し出し、着物が見える街並みの演出などとまち歩きとの連携
	23	・成人式用の着物が購入できる女性親子向けのツアーの実施

テーマ④ まち歩き観光	市内を周遊する観光ルートの設定	
	24	・各町の代表的なスポットを入れた定番観光ルートと、エリア別、所要時間別、テーマ別など、多種多様な観光ルートの設定
	地域文化にふれられるまち歩きコースの作成	
	25	・各町の代表的な地域を絞ったまち歩きコースの設定と、コース内の順路標識、看板整備
	26	・自転車、ちりめん製傘の貸し出し、観光客と地元の人とのふれあい機会の設定など、地域の特徴、丹後の特色を活かした演出
	27	・まち歩きガイドの制度化と有効活用
	28	・空き家、空き店舗の有効活用の検討
	観光ルート、まち歩きコースの発信	
	29	・観光ルート、まち歩きコースをまとめたマップ集、ガイドを作成し、宿、観光施設などへ配置するとともに、インターネット上での配信を行う

テーマ⑤ 京丹後ブランド となる土産物づくり	土産物の改良・開発	
	30	・市の代名詞、顔となる代表的な土産物の改良・開発
	31	・機械金属関係の土産物の改良・開発(再掲)
	32	・地場産業を活かしたちりめん製品、特に女性をひきつける製品の改良・開発
	33	・サワラなどの水産加工品、くずナシなど果実の有効活用による特産品の改良・開発
	34	・土産物、特産品づくりに対する行政支援の確立
	土産物のPRと情報発信	
	35	・マスコミ、著名人を利用した商品PR
	36	・土産物処マップの整備

基本方針 3 京丹後人気質をもったもてなし観光と国際観光に取り組みます

テーマ① 味の極上地づくり	カニを中心とした食の魅力	
	37	・冬でも他の食が選択できるコース、質重視コース、夏限定のカニ料理など、カニメニューに多様性を持たせる
	38	・なぜ丹後で食べるカニがおいしいか、ストーリー性や五感で味わってもらえる工夫
	季節感ある食と地産地消の推進	
	39	・農業者、漁業者と観光業者とをつなぐ関係者による協議の推進
	40	・その日に収穫、出荷される商品がインターネット発信される仕組みづくりの検討
	41	・飲食店などにおける地産地消、丹後ブランド使用のPR(共通のれんの設置など)
	42	・山菜採りなど自然の恵みを活かした体験メニューの開発と食への活用
	43	・ばら寿司などの郷土料理、海、山、里の地元食材を活かした食づくり体験の実施
	44	・有害鳥獣を活用したシカ、イノシシ肉の活用
	45	・特産品化に取り組んでいるサワラを提供する食事処、土産物店、宿の増加を図る
	46	・丹後あじわいの郷に、丹後一円の食と土産物を集めて発信、販売する

テーマ② ゆっくり滞在できる宿泊魅力の向上	京都府丹後観光圏※で連携した宿泊・滞在の魅力づくり	
	47	・京都府丹後観光圏での取り組みと連携し、丹後でのゆったりした過ごし方の提案、特色ある体験など、滞在、連泊の仕組みづくりと一体的な発信
	48	・民泊を推進し宿泊の新たな選択肢、ターゲットを広げる
	49	・「泊食分離」を増やすとともに、食事処マップなど、食事処の情報提供を行う
	50	・宿が営業マンになって、地域の観光の魅力を的確にPRする
	数、種類が豊富な温泉のさらなる活用	
	51	・数・種類が豊富な温泉のまちを一体的にPRする取り組み(「京丹後七湯」など)
	52	・長寿の里であることと温泉、薬草、運動、食などを組み合わせた健康、美容をテーマにした旅行商品開発
	53	・飲用温泉水の販売

テーマ③ ホスピタリティ※の向上	観光業におけるもてなしの向上	
	54	・観光関係者全体でもてなしの資質向上に取り組む
	55	・宿、観光施設で統一のご意見箱を設置し、施設毎に分析と対応を実施
	市全体でのもてなし	
	56	・「もてなし大賞」の実施、学校、地域、企業などへの協力要請など、市全体でのもてなしの意識の向上を図る
	57	・市民が地域に誇りと愛着を持ち、地域観光資源に関する知識の向上を図る
	58	・観光ガイドの有効活用、周知徹底を図る
	観光施設の整備活用	
	59	・観光施設間の連携を強化し、相互の利用促進、周遊を促進する
	60	・バスが停車できる場所、散策ルート上などへのトイレの整備と適切な管理
61	・まちの商店、宿、民家などを活用したお茶のみ処、トイレ処などの整備	
62	・丹後ちりめん資料館、野村克也記念館など新たな観光施設整備の検討	

テーマ④ インバウンド※ の推進	インバウンドの推進と受入体制整備	
	63	・外国人から見た丹後の良い点を調査し商品戦略をたてながら、東アジアを中心としたプロモーション、誘致活動の実施
	64	・「山陰海岸ジオパーク※」による世界的発信力を活かし、外国からの旅行客増加を図る
	65	・丹後広域観光キャンペーン協議会※、豊岡市など広域連携による誘客の推進
	66	・外国語講座、接客のあり方など、研修機会を増やす
	67	・外国語パンフレット、ホームページ、サイン※の整備
	68	・人材バンクを設置して、通訳などを派遣できる仕組みをつくる

テーマ⑤ 修学旅行の魅力 づくりと誘致	修学旅行の誘致	
	69	・環境の取り組み、地域の特色を活かしたほんまもん体験などを中心にPRし、積極的に修学旅行誘致を図る
	70	・外国からの教育旅行誘致を推進する
	71	・民宿等での分宿※形態を地域で取り組み、地元の人とのふれあいをアピールする

テーマ⑥ 快適に移動できる 交通環境・サイン※の整備	アクセス、丹後周遊の交通網整備	
	72	・京都縦貫自動車道、鳥取豊岡宮津自動車道の早期整備促進
	73	・コウトリ但馬空港～羽田空港直行便の実現に向けた取り組み推進
	74	・丹後半島一周道路(R178)の道路改良、城崎久美浜間の三原峠トンネルの早期着手を促進
	75	・「日本風景街道」※登録(R178 丹後町～久美浜町)を活かした道路環境整備
	76	・大宮森本 IC 完成を見越し、弥栄、丹後方面へのアクセスルート改善
	市内周遊手段	
	77	・観光施設間の連携を推進し、各施設を周遊する手段を検討する
	78	・上限 200 円バス※の路線拡大、バス停増設に伴う、観光ルート、マップ作成
	79	・丹後地域広域での1日乗り放題バスの運行
	駅周辺整備及び北近畿タンゴ鉄道の活用	
	80	・駅施設、機能の総点検と必要な整備、適切な管理運営
	81	・北近畿タンゴ鉄道の着物着用者割引、バス周遊とセットにしたチケット発行など
	82	・主要駅を拠点としたレンタサイクルの実施と、サイクルトレイン※の観光への活用
	観光サイン整備	
	83	・誘導看板、説明看板などの現状調査と計画的整備、老朽化看板の早期撤去
	84	・まち歩きコースへの歩行者用の誘導看板・説明看板の設置(再掲)
	85	・丹後半島の西と(久美浜)と東の入口(宮津市)に、「丹後半島入口」看板の設置

テーマ⑦ 環境に優しい観 光活動の促進	環境整備	
	86	・花運動、植樹、清掃活動を広げるため、助成制度など行政が情報提供、支援を行い、市民花壇、企業花壇などによる自主的な環境運動を推進
	87	・年中きれいな海を目指した海岸清掃の取り組み推進

基本方針 4 徹底したマーケティング※手法で戦略的に情報を発信します

テーマ① 観光マーケット の感度向上	観光マーケティング※	
	88	・市場ニーズや変化を把握できる定期的な調査や外部とのネットワークづくり
	89	・関係者の研究会、勉強会による現状に対する改善意識の醸成
	90	・専門家などによる相談、アドバイス体制の確立
テーマ② 訴求力のある イメージづくり	イメージ戦略※・キャッチコピー※	
	91	・本市のイメージを戦略的にアピールするキャッチコピーなどの活用
	92	・「日本一」、「京丹後市にしかない」ものを作り上げ、効果的なPRを行う
テーマ③ ターゲット戦略	ターゲットの設定	
	93	・国内ターゲットを関西圏から中京圏、関東圏へ広げる
	94	・アクティブシニアと女性を意識した商品開発
	95	・「エコ」、「ヘルス※」、「グリーン※」など新たなツーリズムへの対応
テーマ④ 効果的な情報 発信	効果的な発信、PR	
	96	・市職員はもとより、全市民が営業マンとして市をPRする取り組みの推進
	97	・宿、観光施設などでのあらゆる観光情報の収集と提供を行うとともに、「まちの駅※」制度による商店などからの情報発信ともてなしの取り組み推進
	98	・丹後七姫を市のマスコットキャラクターとして位置づけさらなる発信、PRを行う
	99	・フィルムコミッション※設置など、映画、TVなどのマスメディアを活用した発信力強化
	100	・ケーブルテレビ※、コミュニティFM※を活用した観光情報の発信と共有化
	101	・「ゆるキャラ※」による発信
	102	・市入口へのインフォメーションセンター※整備の検討
	103	・スポーツ施設の情報発信による大会・合宿の誘致
	104	・松本清張生誕100年(2009年)を記念した取り組みなど、京丹後市とゆかりのある人物、出身著名人の活用
	105	・京丹後ふるさと応援団※、京丹後市博士※、丹後観光ロコミ大使※の積極活用
テーマ⑤ 情報発信ツ ール※の選 択と集 中	パンフレットの整備	
	106	・京丹後のすべてがわかる、マップ、周遊コースなども入った総合パンフレットの作成
	107	・外国語パンフレット(英語、中国語簡体、中国語繁体、韓国語)の作成
	108	・テーマ別の周遊コース、各地域のまち歩きコースなどのマップ整備
	109	・歴史、文化、伝説などを紹介するシリーズ的なガイドブックの作成(再掲)
	パンフレットの配布・活用	
	110	・市外(誘客促進)、市内(周遊促進)に分け、有効な配布・活用方法を検討する
	111	・学校、家庭などにも配布し、市民の意識、知識向上を図る
	ITを活用した情報発信	
	112	・観光情報サイトを観光協会ホームページに一本化し、シンプルでわかりやすいものに整理
113	・外国人観光客に対応する外国語版の観光情報サイト作成	

114	・すべての観光パンフレットをデジタルブック※化し、インターネット上で広く発信する
115	・観光情報サイトをすべての宿、観光施設などへ広くリンクされるよう働きかける
116	・市情報交流サイト「T-WAVE※」を観光情報の発進、宿・観光業者等のPRに活用する
117	・携帯電話での観光情報発信「携帯ナビ」の実施
イベントの改善と発信強化	
118	・既存イベントについて、観光振興の観点での工夫、見直しを検討する
119	・イベント情報の収集、発信を的確に幅広く行う(各種ホームページでの発信、マスコミ活用)

基本方針 5 地域が総ぐるみで観光に取り組みます

①総合的な観光推進組織づくり	観光協会を中心とした推進体制づくり	
	120	・観光協会の体制強化と業務の整理・拡張
	121	・観光協会、商工会を中心とした推進体制の形成
	122	・宿泊、飲食、土産物、地産地消などのテーマごとの課題解決型の業界形成
	123	・観光ボランティアの充実、派遣体制の整備(丹後ふるさと検定合格者、ネイチャーガイド養成講座修了者等の活用)
	京都府丹後観光圏※など広域連携による観光施策の推進	
	124	・京都府丹後観光圏整備事業、丹後広域観光キャンペーン協議会※との連携、
	125	・豊岡市との連携
	126	・国、京都府、関西広域機構、北近畿広域観光連盟など広域組織との連携
	127	・JR、北近畿タンゴ鉄道、丹後海陸交通などの運輸機関との連携

②観光活動の原動力となる人材の育成	人材の育成	
	128	・実務面のプロパー人材※の確保
	129	・ホスピタリティ※研修会、ガイド養成講座等の実施
	130	・後継者の育成

③観光立市推進条例との連携	観光立市推進条例との連携	
	131	・観光立市推進条例を活かした規制と誘導
	132	・観光に対する市民理解の推進
	133	・まちづくり条例との連携

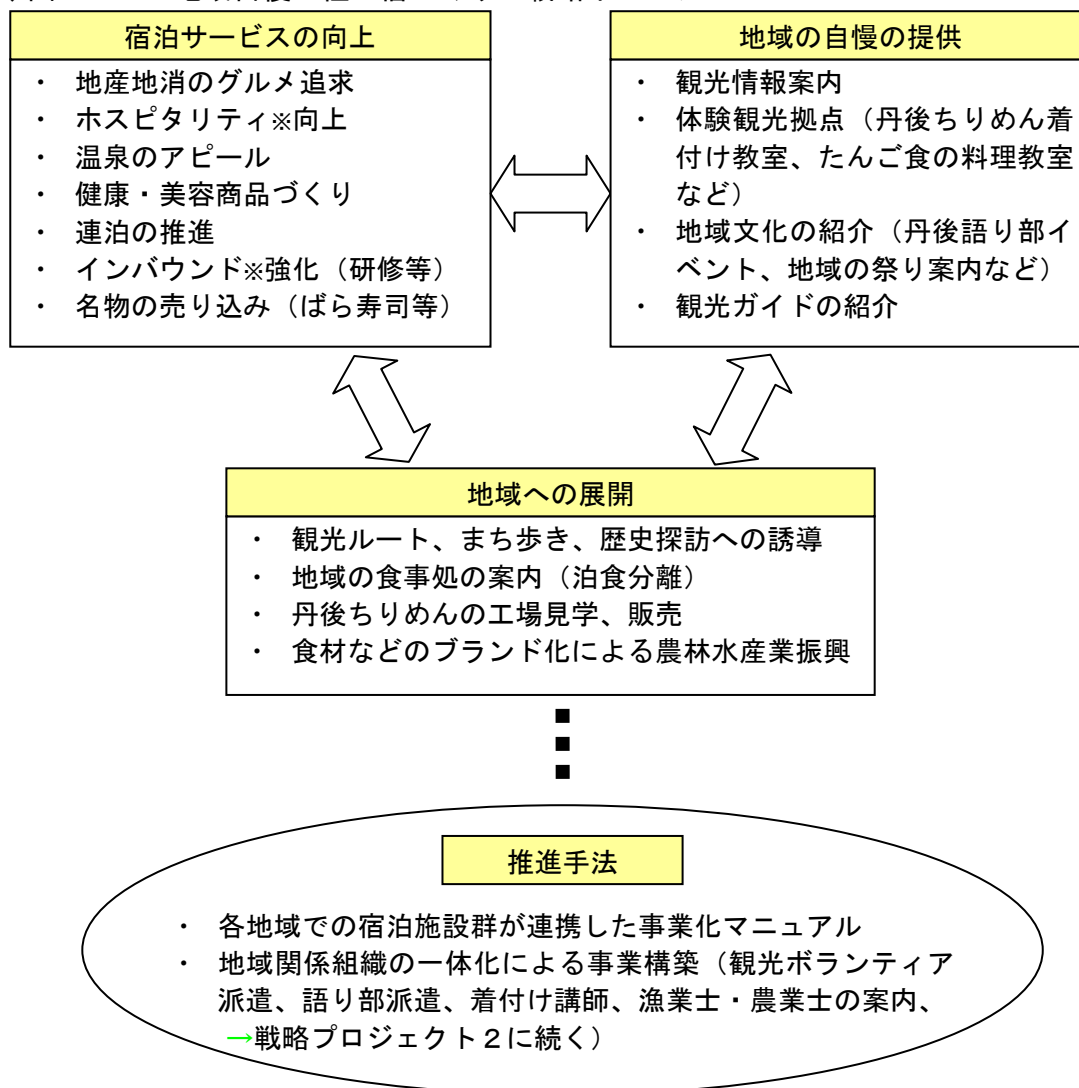
2 戦略プロジェクト

戦略プロジェクトは、多くのアクションプラン※を同時並立に進めるのではなく、キーとなる事業を核にアクションプランを組み合わせ、戦略的に総合的な効果を得ることをねらっています。

略戦プロジェクト 1 地域自慢の極上宿づくり

宿泊施設は、観光活動の中心的な役割を担う重要な拠点です。この宿に地域の自慢を持ち寄り、そこで魅力を体感し、さらに地域に総合的に波及していくことをねらうプロジェクトです。宿泊施設は宿泊サービスの質の向上を目指すだけでなく、観光案内、情報提供の場として、地域との連携を強めます。

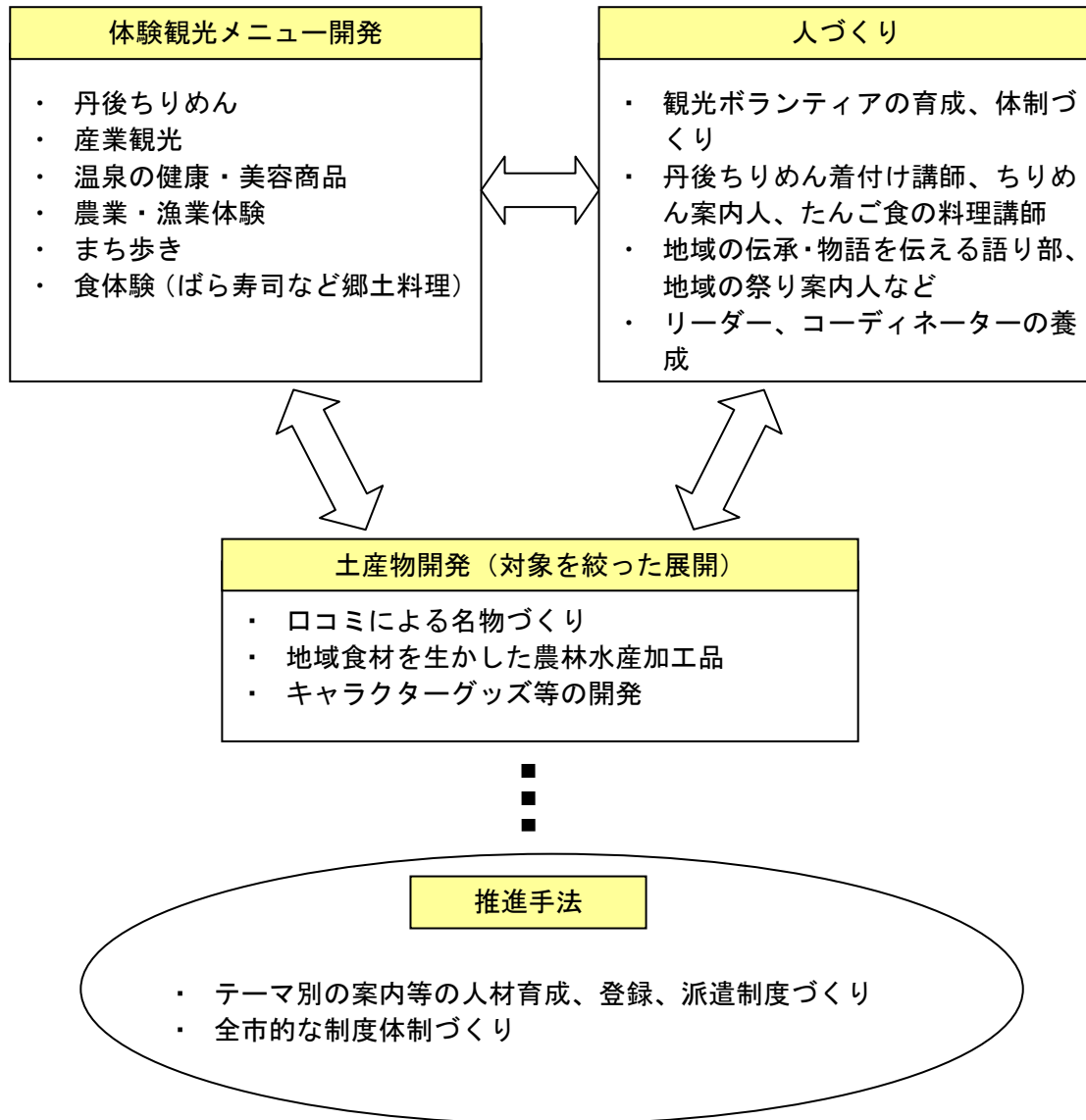
◇図ー12 地域自慢の極上宿づくり 戦略イメージ



戦略プロジェクト 2 手作り(極上)のふれあい観光

京丹後市のふるさとの魅力を味わってもらうために、観光業者だけでなく行政・市民も一体となった人と人のつながりを大切にした手作りの観光を創造、提供します。きめ細かな体験型の観光づくり、人が中心となった心あたたまる案内、まち歩きなど、地域の人々が自らの手でつくる観光です。

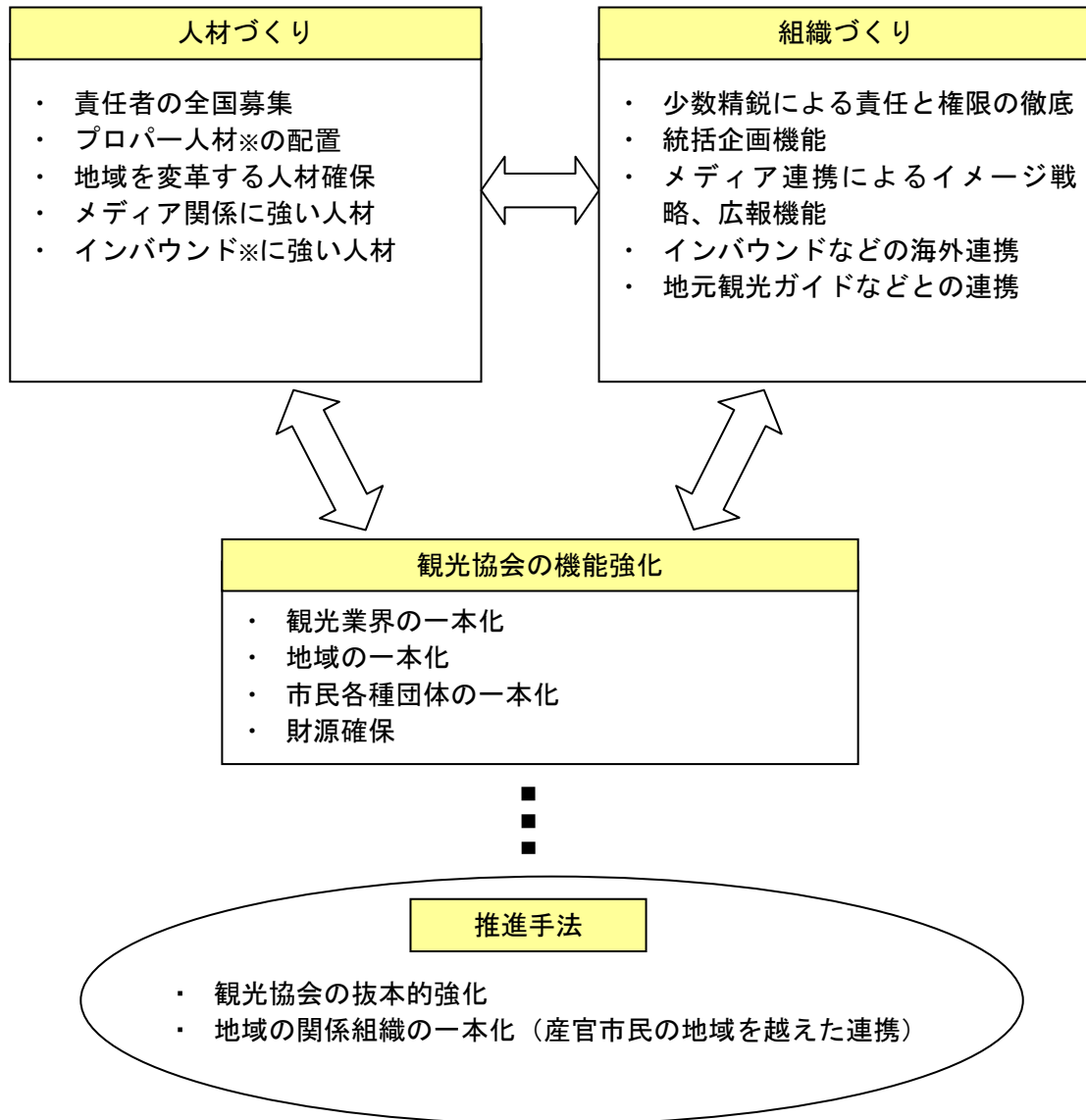
◇図-13 手作り(極上)のふれあい観光 戦略イメージ



戦略プロジェクト 3 実践的な組織強化

アクションプラン※を推進するにあたって、人材や組織の効率的な運営をはかるため、これまでの体制や人材を抜本的に強化します。

◇図-14 実践的な組織強化 戦略イメージ



第4章 地域別計画

地域別計画は、全市を対象とした将来ビジョン、アクションプラン※とともに、地域の現状や課題、特徴を踏まえて、地域別に関係者が一体となって、取り組む内容を整理するものです。

1 地域別計画の目標とテーマ

地域	目標	テーマ
峰山	京丹後市の都市機能が集積した中枢拠点として、産業観光への取り組み、スポーツ施設の活用や丹後ちりめんをテーマとした歴史のまち歩きの整備などを進めます	<ol style="list-style-type: none"> 1 産業観光とスポーツ観光の推進 2 丹後ちりめんと歴史を活かしたまち歩き観光の推進 3 玄関口峰山駅の改善
大宮	京丹後市の玄関口としての機能を充実するとともに、地産地消などによる農業や自然環境を活かしたほんまもの観光に取り組めます	<ol style="list-style-type: none"> 1 アグリツーリズム※の推進 2 「京丹後の玄関口」としての機能整備 3 各種資源などの有効活用
網野	京丹後市の宿泊温泉拠点としてホスピタリティ※を向上させ、海や漁業、歴史資源、丹後ちりめん機屋の街並みなどと一体となった滞在型の地域づくりを進めます	<ol style="list-style-type: none"> 1 豊富な資源、施設の有効活用 2 公共交通と観光・散策ルート、街並み整備
丹後	海や漁港の景観、グルメなどの魅力を活かしつつ、まち歩き、海岸を周遊できる環境などの整備を行います	<ol style="list-style-type: none"> 1 まち歩きによる魅力発信 2 観光資源の有効活用 3 交通便利性の向上と周遊魅力の向上
弥栄	高原の自然、歴史、史跡、温泉や農業を活かし、施設などの有効な連携により、内陸の魅力ある観光活動を促進します	<ol style="list-style-type: none"> 1 花、山野草を中心とした自然の魅力発信 2 歴史・史跡の活用 3 観光施設を中心とした施設・地域間の連携
久美浜	海岸や久美浜湾の自然景観を活かし、街並みの整備や地元食材による食の魅力に取り組めます	<ol style="list-style-type: none"> 1 久美浜湾と日本海を中心とした資源活用 2 まちの活性化とまち歩き、歴史による魅力発信 3 地元食材の活用

2 地域別計画

(1) 峰山地域 目標：産業観光に取り組みます

① 現状・課題、特徴など

現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・官公署、事業所、工場等の集積地であり、観光要素は少なくビジネスでの宿泊者が多い ・国内最大規模の古墳をはじめ、神社、寺院などの見どころが多い ・スポーツ施設、文化施設が整備されており、観光への活用も考えられる ・住民の観光に対する意識がやや低い

主な観光エリア	特徴	主な観光要素
市役所周辺	神社、丹後ちりめん工場、商店などまち歩きの魅力	金刀比羅神社、御旅市場（日本一短いアーケード）、ちりめん工場、機械金属工場、ものづくりパーク、薬師ヶ丘さくらの森公園（震災記念館）、峰山総合公園、酒蔵
天女の里周辺	羽衣伝説の地	天女の里、乙女神社、磯砂山、慶徳院（襖絵）、ウッディいさなご（体験）
その他	峰山途中ヶ丘公園、赤坂今井墳墓（国指定史跡）、禅定寺（丹後ちりめんゆかりの寺）	

② 地域計画

<p>1. 産業観光とスポーツ観光の推進</p> <p>① 規模、質とも向上している機械金属工場の見学を観光と結びつける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりパークから複数の工場見学のルートを設定し発信する ・機械金属工場関係組織への協力要請を行い、土産物の開発、効果的な仕組みづくりなどを検討する ・まずは子どもをターゲットに考える <p>② 途中ヶ丘運動公園、峰山総合公園など充実したスポーツ施設を活用した誘客の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の情報をひとまとめにし、関係者へのPRや宿泊施設などから発信を行う ・大規模なスポーツ大会、合宿の誘致を推進する
<p>2. 丹後ちりめんの歴史を活かしたまち歩き観光の推進</p> <p>① 金刀比羅神社、御旅市場、丹後ちりめん工場などを中心としたまち歩きの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コース内への食べ物スポット、トイレ、休憩処などの整備 ・御旅市場に丹後の食を集め、食の魅力をPRする ・レンタサイクルの実施 <p>② 史跡・街並みなどの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤坂今井墳墓、湧田山古墳など、代表的な史跡を絞って看板、駐車場などの整備を行う ・歴史ある街並み景観保全のための取り組みを検討する
<p>3. 玄関口峰山駅の改善</p> <p>① 観光玄関口として駅の機能向上、イメージアップに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・券売所を1階に移転させるなど、利用しやすい施設となるようハード面での改善の工夫 ・売店運営や窓口業務の改善など、観光客の視点に立った適切な管理運営 ・案内看板、観光情報の充実を図る

(2)大宮地域 目標:アグリツーリズム※を推進します

①現状・課題、特徴など

現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・国道312号周辺の商店、農業などの産業の集積地で、観光の要素は少ない ・宮津天橋立ICから京丹後市への玄関口にあたり、観光客の通過が多い ・ブナ林などの豊かな自然が広がり、観光での有効活用が可能 ・丹後周辺を観光する上での中心的位置にあたり、観光の拠点となりうる ・住民の観光に対する意識がやや低い

主な観光エリア	特徴	主な観光要素
丹後マスターズ ビレッジ周辺	市入口にあたり交通の利便性が良い	おおみや小町温泉、大宮ふれあい工房（体験）、大宮売神社、峯空園（桜スポット）、丹後ちりめん
明田、五十河周辺	ブナ林を代表とする豊かな自然とこだわり農業	内山ブナ林（近畿最大規模、福寿草、あじさい）、小町公園（小野小町ゆかりの地）、季楽里（体験工房）、名水、大宮森本IC設置予定地
その他	平地地蔵、国道312号周辺の飲食店、イチゴ狩り	

②地域計画

1. 「アグリツーリズム※」の推進
①地元の農作物提供の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・関係組織で「地産地消協議会」を設置し、システムの構築や販売ルートを確認させ、地元農作物の流通を図る ・竹炭米の例など、ストーリーやこだわりをもったブランド化の取り組みを推進する ②ともに汗をかき、地元の人とふれあう、ストーリーのある体験の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・古民家などを利用した宿泊や農家民泊※と自然ふれあい体験・農業体験の実施 ・NPO法人を核とした体験活動の推進 ・農業の体験、海の体験などを組み合わせたメニューの提供など、山・農と海との連携を推進する
2. 「京丹後の玄関口」としての機能整備
①案内・情報提供機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設を利活用した情報、トイレ、バス駐車場、土産物がそろったインフォメーションセンター※整備を検討する ・「観光案内交番」など、飲食店などにおける観光情報発信の充実、協力施設の拡大を図る ②道路環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・大宮森本IC設置に伴う延利、森本周辺の施設、環境整備と丹後町方面へのアクセスルートの検討 ・大宮森本ICに関連した新たな施設などが整備される際、地元のコンセンサスと景観面での規制・配慮を考える ・国道312号沿いの清掃、花運動、景観保全、街路灯整備など、地域による取り組みを推進する
3. 各種資源などの有効活用
①自然、施設、地理的条件の積極的な活用 <ul style="list-style-type: none"> ・自然公園ふれあい全国大会（H21開催）を機に内山ブナ林散策コースの設定とガイド案内を実施 ・川遊び体験ができる環境整備（明田、延利、五十河周辺） ・大宮、峰山のスポーツ施設を活用した誘客と滞在の促進 ・丹後地域の中心地で周遊の拠点となりうる立地的条件を活かした取り組みの推進

(3)網野地域 目標：宿泊を中心とした滞在型観光地を目指します

①現状・課題、特徴など

現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・市内で最も観光客が多い地域である ・海側に多くの温泉地、海水浴場が並び、観光の中核を担っている ・海、温泉、歴史、丹後ちりめんなど、あらゆる観光資源に恵まれている ・カニと温泉で宿泊・昼食客は多いが、地域での滞在時間は短い ・宿周辺などでまち歩きができる環境整備が不十分 ・魅力的な景観、観光資源を有する浜詰・浅茂川を結ぶ府道の活用が不十分 ・網野駅周辺の賑わいがなく、玄関口としての印象が悪い

主な観光エリア	特 徴	主な観光要素
木津温泉周辺	京都府最古の木津温泉を有する、歴史ある温泉地	温泉（京都府最古、足湯あり）、カニ、松本清張小説「Dの複合」舞台、果樹、ホテル
浜詰・夕日ヶ浦周辺	カニと温泉で市内一の観光地に成長	温泉（外湯あり）、カニ、夕日ヶ浦（日本の夕陽百選）、海水浴
浅茂川・小浜地区	八丁浜を中心に、多彩な観光要素が存在	海水浴、カニ、温泉（外湯あり）、浦島伝説（浦島太郎、乙姫）、丹後ちりめん（工場、織り元多数）、離湖、浅茂川漁港、八丁浜シーサイドパーク、サーフィン、牧場
掛津・琴引浜周辺	日本一の鳴き砂の浜、琴引浜を有する	琴引浜（国天然記念物・名勝）、琴引浜鳴き砂文化館、海水浴、カニ、温泉（砂浜に湧き出る）
その他	網野銚子山古墳（国指定史跡）、静の杜・静神社（静御前ゆかりの地）、郷村断層（国天然記念物）、切畑地区（自然豊かな山里と名水、ホテル）、霧降りの滝、丹後ばら寿司、子午線	

②地域計画

1. 豊富な資源、施設の有効活用
<p>①海、漁港、さかな屋と観光を結びつける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セリ見学の実施とさかな屋（浅茂川地内）を観光客向けに変える ・浅茂川地区などでのまち歩きの推進と、「魚」をキーワードにした観光ルート開発 <p>②静神社、嶋児神社、銚子山古墳など歴史スポット、史跡の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各史跡における道路、案内板、駐車場の必要な整備 ・静神社を夕日のスポットとしてPRする ・旧網野町が整備した「ふるさと自慢百選」看板の老朽化に伴う改修 <p>③八丁浜シーサイドパークの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国レベルのグラウンドゴルフ大会など、観光振興につながるスポーツ大会の実施
2. 公共交通と観光・散策ルート、街並み整備
<p>①海岸線を中心としたルート整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹後町から続く三津～浜詰までの海岸線を「夕日の道」として整備、PRする ・浅茂川～浜詰間の府道を観光ルートとしてPRする ・網野駅前～浅茂川間の府道バイパスのイルミネーション事業を活かした取り組み <p>②浜詰地域の観光まちづくりを推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無電線化の検討など街並み整備の取り組みと、まち歩きを推進する <p>③まちの駅※、立ち寄りスポットなどの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まちの駅」など、店の軒先を利用した休憩所、お茶飲み処、散策ルート上のトイレ整備 ・ちりめん製傘の貸し出しなど特色ある取り組み

(4)丹後地域 目標:海、漁港を活かした魅力に磨きをかけます

①現状・課題、特徴など

現状と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・立岩、屏風岩、丹後松島などの奇岩とリアス式海岸が織りなす市内随一の海岸景観 ・ブランドガニ「間人ガニ」の産地として、全国的に知名度が高い ・天橋立・伊根を結ぶ「丹後半島一周」のルート上にあり多くの周遊客が通過する ・多くの観光客が通過するが、滞在につながらない ・間人の街並み、漁港など、雰囲気ある風景が十分に活かされていない ・駅から遠い上、公共交通による周遊の利便性が悪い ・美しい海岸景観は眺めるだけで、十分な活用がされていない 	

主な観光エリア	特徴	主な観光要素
間人・竹野周辺	間人ガニの産地、丹後の象徴・立岩のある海岸	カニ（ブランド間人ガニ）、温泉、道の駅、立岩、屏風岩、間人漁港、まち歩き、海水浴、キャンプ、古代の里資料館、神明山古墳（国指定）、間人皇后・聖徳太子母子像
宇川・袖志周辺	抜群の海岸景観、灯台がある市内随一の景勝地が続く	経ヶ岬灯台（日本の灯台50選、近畿最北）、丹後松島、袖志の棚田（日本の棚田百選）、碓高原（ステーキハウス）、温泉、海水浴、魚釣り、アユ
その他	丹後半島一周、依遅ヶ尾山、山野草	

②地域計画

1. まち歩きによる魅力発信
①間人、中浜などの港町のまち歩きの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港、セリ、漁業に関わる人の風景を活かす取り組みや地元の人とのふれあい機会設定 ・道の駅において、車を降りてまちを歩く仕組み、情報提供、環境づくりを推進する ・まち中、路地をきれいに保つ取り組み ・まち歩きマップの整備、宿、観光施設でコース、ガイドなどの情報提供の実施
2. 観光資源の有効活用
①経ヶ岬灯台のさらなる活用 <ul style="list-style-type: none"> ・灯台一般公開の回数・期間の増加、「かわらけ投げ」の実施など、さらなる魅力・発信力アップの取り組み ・灯台、よし野の里、碓高原をルート化、セットにした発信 ・駐車場トイレの早急な改修 ・経ヶ岬行きの路線バスの増便（伊根方面、間人方面とも） ②海とその恵みをより一層活かす取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・変化に富んだ海岸線の景勝地を海から見せる遊覧船の取り組み推進 ・各種漁業体験、漁師体験、漁家民宿など、漁業者と連携した取り組み推進 ・自然公園ふれあい全国大会（H21開催）を機に丹後松島周辺の散策コース設定とガイドの実施 ・カニに勝る食材はない、世界一のカニのまちを目指す ・屏風岩へ日本一のしめ縄をかける
3. 交通利便性の向上と周遊魅力の向上
①滞在・周遊促進のための交通、道路整備 <ul style="list-style-type: none"> ・丹後町内を周遊できる車の運行や着地型ツアーの実施、路線バスによる観光コース設定 ・碓高原、丹後松島、久僧などで広がっている花運動の取り組みを広める ・間人漁港へマイクロバスで行けるよう、アクセス道路の整備を行う

(5)弥栄地域 目標:花、山野草を中心に自然と歴史の魅力発信に努めます

①現状・課題、特徴など

現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・丹後あじわいの郷を中心に、弥栄あしぎぬ温泉、森林公園スイス村など観光施設への誘客が中心 ・特に野間地区は自然の宝庫であり、山野草、福寿草など素材は魅力的である ・駅がなく、また公共交通の便が悪いため、施設間の周遊が困難 ・京都エコエネルギー研究センター、太鼓山風力発電など、エコスポット※として視察・見学が増加 ・主要施設への入込客が下降している ・魅力的な素材が十分に活用されていない

主な観光エリア	特徴	主な観光要素
野間、スイス村周辺	豊かな自然に恵まれた素朴な集落と高原リゾート	スイス村（キャンプ、スキー、環境学習、体験、太鼓山風力発電）、山野草、福寿草、細川ガラシャ（隠棲の地の碑、ガラシャ米）、野間そば、野間川（アユ、アマゴ）、ホテル
あじわいの郷周辺	あじわいの郷と温泉による集客	丹後あじわいの郷（道の駅、自然・農業・食の体験、太陽光発電）、弥栄あしぎぬ温泉
その他	大田南古墳群（青龍3年鏡）、京都エコエネルギー研究センター、牧場、酒蔵	

②地域計画

1. 花、山野草を中心とした自然の魅力発信
<p>①丹後あじわいの郷、スイス村、野間地区を中心とした花、山野草の魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スイス村のゲレンデを利用して日本一の芝桜を目指す ・丹後あじわいの郷の花の魅力アップと発信強化を行う ・野間、味土野地区に自生する福寿草の魅力を生かすとともに、栽培・販売の検討 <p>②須川、味土野地区の山野草、野間川を活かした取り組みを推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然公園ふれあい全国大会（H21開催）を機に野間山野草散策のコース設定とガイドの実施 ・山菜採り、筍掘りなど、山の食材を採取する取り組みの体験事業化と、食への有効活用 ・イワナ養殖の開始に伴い、野間川の観光面での活用をより一層推進する
2. 歴史・史跡の活用
<p>①多くある古墳などの史跡の価値、魅力を発信し活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒部銚子山古墳、奈具岡遺跡、遠慮遺跡、大田南古墳群などの一定整備と維持管理、ガイドの実施 ・細川ガラシャの里について、丹後七姫ゆかりの地の一つとして一定の整備と維持管理
3. 観光施設を中心とした施設・地域間の連携
<p>①あじわいの郷、スイス村、あしぎぬ温泉を中心とした施設、地域間のネットワーク形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係施設などで協議会を組織し、施設間の連携方策、周遊の仕組みづくりなどを検討し実施する ・環境関連施設を使用した観光・環境・農の連携。バイオマス発電施設、牧場、工房など既存施設の観光での活用 ・観光に関連づけることができる民間人、施設の掘り起こし

(6)久美浜地域 目標:久美浜湾とかぶと山をより一層活用します

①現状・課題、特徴など

現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・穏やかで風光明媚な久美浜湾とかぶと山からの絶景は他地域にない魅力 ・宿泊施設は湊宮地区に集中しており、民宿の割合が多い ・カニに加え、カキ料理が冬の食の魅力となっている ・全長6 kmのロングビーチと、ユウスゲ、トウテイランなど貴重な海浜植物がある海岸の景観が魅力 ・久美浜湾でのカヌー、ドラゴンカヌーといった特色ある体験ができる ・久美浜湾、かぶと山を活用した取り組みが不十分である ・久美浜一区の街並み整備を行っているが、観光客がまち歩きするには魅力が少ない ・夏の海水浴、冬のカニ・カキ以外の誘客力が弱い

主な観光エリア	特 徴	主な観光要素
久美浜湾南側	稲葉本家を中心とした歴史ある街並みとかぶと山の景観	久美浜湾、かぶと山、街並み、稲葉本家、如意寺（関西花の寺）、浜公園、カヌー、ドラゴンカヌー、熊野神社（川上摩須郎女ゆかりの地）
久美浜湾北側	海水浴と温泉、日本海と久美浜湾に面する宿泊エリア	海水浴（ロングビーチ）、久美浜湾、温泉、カニ、カキ、カキ漁、魚釣り、ゴルフ場、ユウスゲ、トウテイラン、マリンプラザ
旭・蒲井地区	自然豊かな隠れ家的スポット	海水浴、温泉、ツリーハウス、クラインガルテン※、魚釣り
その他	奥山自然たいけん公園、果樹（平田、箱石地区）、牧場、スサノオノミコト、酒蔵	

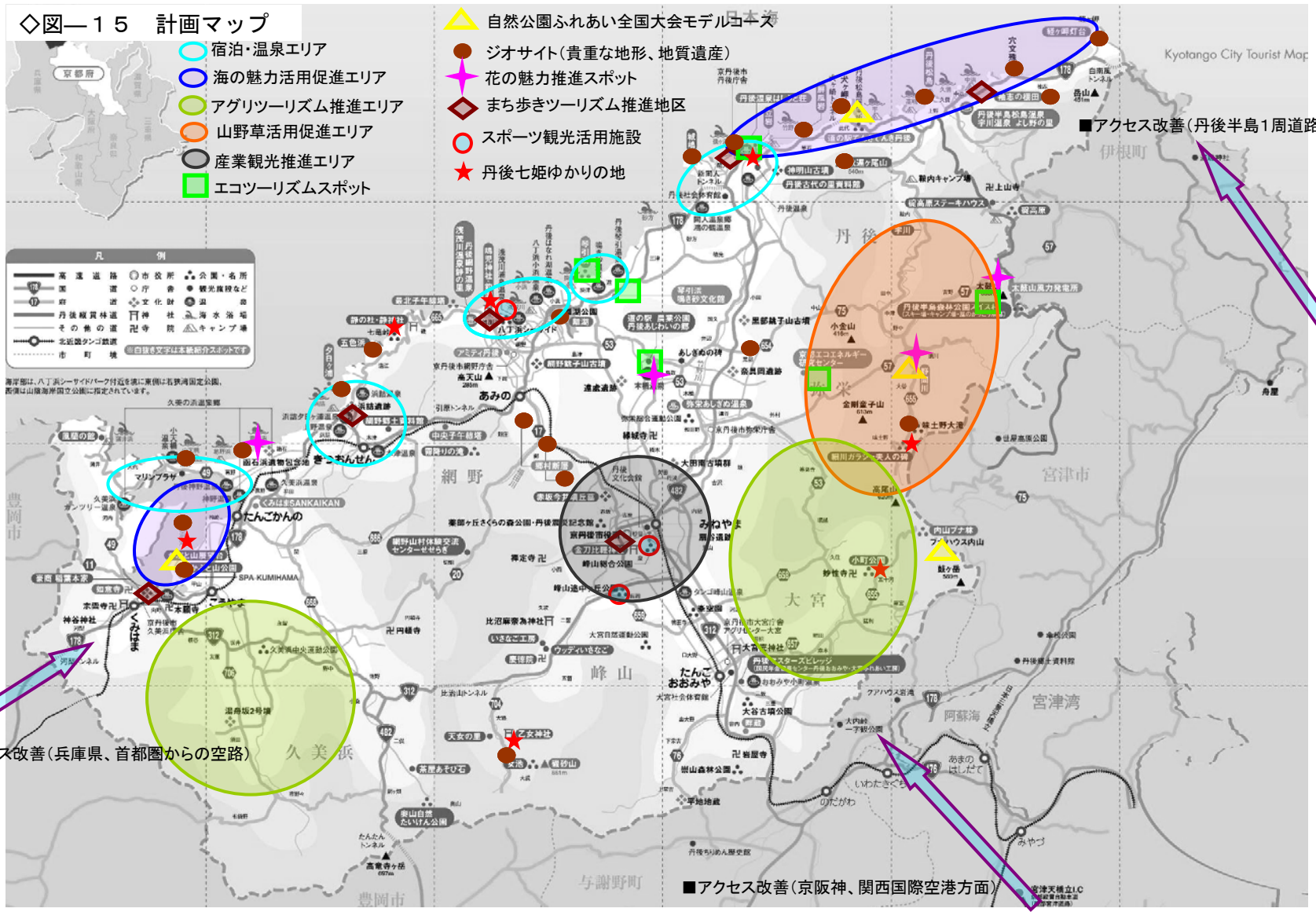
②地域計画

1. 久美浜湾と日本海を中心とした資源活用
<p>①かぶと山展望台からの絶景の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩いて上がって絶景を体感してもらえるよう、積極的な情報提供とイベントなどでの登山機会の増設 ・自然公園ふれあい全国大会（H21開催）を機にかぶと山散策コースの設定とガイドの実施 ・湊宮方面からの誘導、登山ルート案内など、不足している看板の整備 <p>②久美浜湾の有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊覧船、シータクシー※、屋形船などの久美浜湾内での運航 ・湾岸沿いへ桜、もみじなど植樹し、湾岸景観の魅力向上を図る ・カキ養殖、白鳥飛来などの景観活用 ・景観を活かした飲食施設の整備促進 <p>③日本海沿岸の貴重な海浜植物の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユウスゲと夕日景観、トウテイランなど、貴重な海浜植物や山野草の活用
2. まちの活性化とまち歩き、歴史による魅力発信
<p>①街並みの保存と活性化を行い、観光へ活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久美浜一区を中心とした街並み保存活動を推進しながら、まち歩きコースを設定する ・空き家、更地の活用、空き農地と住宅をセットにしたレンタル等による商店街の活性化 ・グループホーム、ケアハウス、短期滞在施設など、セカンドライフの場所として発信し交流・定住人口の増加を図る ・全国に発信できる歴史的な魅力、資源をさらに研究・協議する
3. 地元食材の活用
<p>①カキ、いさざ、山野草、砂丘地を利用した野菜、果樹など地元食材の有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節感にこだわった食の提供 ・山、里の食材の活用、魚介類流通の仕組み改善など、地産地消の仕組みの検討

◇図—15 計画マップ

- 宿泊・温泉エリア
- 海の魅力活用促進エリア
- アグリツーリズム推進エリア
- 山野草活用促進エリア
- 産業観光推進エリア
- エコツーリズムスポット

- ▲ 自然公園ふれあい全国大会モデルコース
- ジオサイト(貴重な地形、地質遺産)
- ★ 花の魅力推進スポット
- ◇ まち歩きツーリズム推進地区
- スポーツ観光活用施設
- ★ 丹後七姫ゆかりの地



■アクセス改善(兵庫県、首都圏からの空路)

■アクセス改善(丹後半島1周道路)

■アクセス改善(京阪神、関西国際空港方面)